

(仮称)佐倉西部自然公園

第1回ふるさと会・里山会合同会議概要

1. 日 時 平成22年8月1日 午前10:00～
2. 場 所 下志津ふれあい会館
3. 参加者 ふるさと会・里山会委員各位、佐倉市公園緑地課・環境保全課
4. 内 容

市長挨拶

この公園区域は、市街地に挟まれながら、佐倉市の昔の原風景である里山景観を奇跡的に残している場所であり、千葉県の上山・森づくりプロジェクトのリーディング事業候補地にも挙げられている貴重な場所です。この貴重な環境資源を次世代に引き継ぐとともに、子供から高齢者まで幅広い皆さまに心身の安らぎをご提供できるような公園を、地元の皆さまをはじめ、広く市民の皆さま方と協力して創り出していきたいと考えております。そしてこの公園が、下志津地区・畔田地区活性化の一翼を担えることを期待しながら、皆さまのご協力をお願いしたいと思います。

ふるさと会・里山会会長及び各委員自己紹介

ふるさと会 斉藤克男会長挨拶

ふるさと会は、区の三役、役員、子ども会、高齢者クラブの代表者、食生活推進クラブ、一誠会、育和会の中堅幹部の集まりを「ふるさと会」として、子どもからお年寄りまでを対象にしています。高齢者クラブは、昔懐かしい農道・田んぼ、山林・畑等がある中で、まず旧道を復元するための案をいただくために入ってもらいました。子ども会には、これから子どもたちが育っていく地元でどういった公園で遊び、思い出を作るかという観点で案を出してもらいたいと思います。そして子どもたちが大きくなって、私たちの出した案が、ふるさとに帰って見たらこういう素晴らしい公園になっていた、というものを作っていきたいと思っております。一誠会・育和会は草刈りやごみ拾いなど体力的な面での色々な活動をお願いしています。以上の構成メンバーで会議を重ねています。よろしくご挨拶申し上げます。

里山会 栗飯原利和会長挨拶

検討委員の延長で、里山会の会長を務めさせていただいております。畔田地区、里山会の構成は現区長、前区長、地権者の7名です。

整備基本計画では、公園ができるまでに今後15年から20年かかるようです。そのままでは、公園としてどうか、という意見もあります。畔田には目の神様で有名な薬師堂があります。民地ですが、素晴らしい景観が保全されており、この薬師堂から広報さくらに掲載された、根本で合体した二本の樹木に至る散策路を早く開設してPRしたいと考えております。今年は地権者と市の協力により、ひまわり畑を試験的に作りました。少しずつ咲き始めています。合体した樹木については、問い合わせや、見に来る方います。これからも花の広場を広げ、毎年やっていけばPRになると思っております。これからも下志津・畔田合同で協力して公園を作っていきたいと思っておりますので、よろしくご挨拶申し上げます。

経済環境部 環境保全課 清宮主査挨拶

環境保全課では、Bゾーンの部分で田んぼの畦を復元して水をためたりするなど、色々な形での事業をさせていただいております。今年度で終了の予定でしたが、佐倉市総合計画の見直しを行い、引き続きもう5年間、継続して実施する方向です。皆さま方のご協力と事業を進めております。今後ともよろしくお願いいたします。

A・Cゾーンのイメージ図説明 - お配りしたイメージ図(案)は、これだけの施設の広さを確保できるということです。写真は、これ位立派なものがあれば良いのですが、イメージとして出来たらいいな、という部分でご理解ください。

(仮称)佐倉西部自然公園整備基本計画では、区域を4つのゾーンに分けています。

Aゾーン	県水道路、佐倉西高校、東邦病院に隣接し、下志津に一番近い場所です。自然体験や市民憩いの場として、自然に融合えるエリアとします。
Cゾーン	畔田地区に近接する場所です。歴史・文化を次世代に伝えるとともに、自然の中で身近なふるさとをイメージできるエリアとします。
B・Dゾーン	渡り鳥の鷹の一種であるサシバの営巣地・餌場となっています。里山の谷津環境を育み、自然の保全が中心となる部分です。自然環境部門である環境保全課が主として計画を練っていくゾーンになります。

A・Cゾーン(ふるさと会・里山会)共通の提案	
<ul style="list-style-type: none"> ・散策路の整備 - 昔ながらの道を散策できるような形にする。 ・駐車場の設置 ・トイレ・水飲み場の設置、多目的広場 ・下志津 畔田をつなぐ縦のルート(散策路など) ・イメージ図の灰色部分は、最低でも6m道路に拡幅する。 	
Aゾーン(ふるさと会)	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもからお年寄りまで利用できる、グラウンドゴルフ大会ができる場所 ・県水道路側バス停からの散策路 - 公共交通機関を利用して散策できるように ・台地上に、テニスやサッカーなどができる広場(斜面林を残し、台地を利用) ・間伐材を利用したアスレチック遊具、ベンチ(自然環境に合ったデザイン) 	
Cゾーン(里山会)	
<ul style="list-style-type: none"> ・下志津から畔田に至る幹線道路に面した大型駐車場 ・大型駐車場に隣接した部分に直売所を設ける ・薬師堂に面している部分から公園への散策路(薬師堂と公園の景観調和) ・地域の資源を活かしつつ、花畑など「人の集まる場所」を作る 	

(現在のA・Cゾーンの状況と今年度の事業について)

昨年度から緊急雇用創出事業を活用し、竹林・山林の整備を行っています。市から委託した業者がハローワークを通じて失業者を雇用し、作業します。期間は昨年度から3年間となり、今年度も引続き行います。

Aゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度整備した池にもう少し手を入れ、散策路を整備する。 ・佐倉西高校裏に菖蒲田を作り、城址公園から株分けした菖蒲を9月中に植え付ける。(花が咲くまで少し期間が必要) ・グラウンドゴルフ場までの道 - 道の整備と、奥を開墾して花畑など。 ・昨年度整備した竹林の篠竹をきれいにし、筍がとれるようにする。
Cゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場付近の畑(イメージ図では、真中にある駐車場付近)のひまわり - 開花始まり(土日は野球場の利用が多く、駐車スペースの関係から、PRは来年度以降) ・ひまわりの後に、菜の花を植える予定。 ・坊谷津部分の竹が繁茂している部分に手を入れる ・野球場から坊谷津、薬師堂に至る散策路の整備。
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・炭焼窯を作る-自然体験へのきっかけになるように。 ・A・Cどちらかで、年間を通じて花が咲いていることが理想。

A・Cゾーンのイメージ図確認及び質問

Aゾーンふるさと会：ふる Cゾーン里山会：里山 環境保全課：環境 公園緑地課：公園

	(地域の資産について-薬師堂・合体した木・ちゃぶくばあさんの木)
ふる：	薬師堂へは、坊谷津を整備しないと行かない状況ですか？
里山：	畔田のお寺に駐車して行くことはできますが、坊谷津部分が荒れているため、野球場から下りて抜けられる散策路がありません。
公園：	坊谷津を整備すれば、根本で合体した二本の木～桜並木を経て良い散策路になるとのご提案があります。薬師堂は市の文化財に指定され、一帯は非常に趣のある景観です。
ふる：	根本で合体した木はどちらに？
里山：	モミと榎が合体した木ですね。野球場から坊谷津へのルートにあります。広報さくら掲載以降、見に来る方も結構います。
公園：	下志津地区にも、「ちゃぶくばあさん」と呼ばれる大きな榎があります。今年度、看板をつけました。
	(A・Cゾーン間の縦のルートについて)
ふる：	広大な土地ですので、少なくとも徒歩で通れるよう、A・Cゾーンを結ぶ縦のルートは必要と思います。
里山：	縦のルートは、畔田でも提案があり、イメージ図に二本、追加しました。市の予算の問題もありますので、丸太でも良いので、昔のイメージ的な橋が出来れば良いですね。
公園：	では、計画へ反映したいと思います。
	(Cゾーンの詳細説明)
里山：	Cゾーンでは大型駐車場の上付近に、ヘリポートを計画しています。ドクターヘリなどが学校の校庭に降りる場合は、埃などの問題があります。将来的には芝を貼り、緊急用地として確保したいと考えています。
ふる：	いいですね。早々にやってもらえれば良いですね。
里山：	自然公園・里山公園もそうですが、地区の将来も併せて考えなければならぬと思います。また、里山会では、地区だけでなく、臼井・ユウカリ地区の方々に自分の木を植えて管理してもらうことで、予算も削減でき、キレイになるといった案も出ています。
ふる：	畦をあげ、倒木などを利用する程度で、最初はお金をかけずに形ができれば良いですね。市の財政が豊かになれば、そのうち立派な吊り橋もできるかも知れませんよ。ちなみに、Bゾーンの土地所有者は？
公園：	ほぼ佐倉市です。ただし、Bゾーンは環境部門との協議が必要です。
ふる：	では、Bゾーンに連絡路を簡単に設置できるという訳ではないのですね。
	(Bゾーンの現況と、連絡路について)
環境：	それぞれの地区の皆さんの想いもありますね。Bゾーンでは、耕作放棄された田んぼの草を刈り、湧水をためています。下草を目一杯ではなく、余裕を残して刈ることにより、蛙・ヘビなど生物が生息しやすい環境にしており、サシバの餌場にもなっています。生物からすると、泉自然公園のような吊り橋は難しいのではなかろうかと。ただ、逆に4～9月に営巣する渡り鳥のサシバのためだけに、連絡路自体を作らない、というのもどうでしょうか。今の畦を広げて丸太橋を作る位、農道のような位置付けで常に草刈りをするような観察ルート程度であれば、里山本来の意味から可能かと思えます。ただ、舗装やチップに対しては、生物への配慮がないという方々もいらっしゃいます。

ふる :	尾瀬のような木道はどうでしょうか？サシバに対して影響は？
環境 :	人は歩きやすいですが、サシバに良くないという方は、多いです。本当の自然環境という意味で様々なご意見があります。
里山 :	自然保護、サシバも必要でしょう。ただ、人が集まるのも「公園」です。そうでなければ、山林を整備した意味がないでしょう。
ふる :	そうですね。お互いに歩み寄らなければ、何事も進まない。
環境 :	サシバを保護すべき！という意見の方々も、里山は全く手付かずの場所ではないという認識はお持ちのようです。おっしゃる通り、公園は色々な方が楽しめる場所であった方が良いでしょうし、自然保護も出来たら良いのですが。色々なご意見を持つ方々もいるということ、環境保全課の立場では皆さんにお伝えしなければならない点、ご理解ください。
ふる :	昨年度、公園緑地課で整備した際、サシバの関係で苦情はありましたか？
公園 :	沢山いただいています。待避所を作った際にも、自然環境保護の観点から厳しいご意見を頂戴しました。私どもは、「自然」に興味を持つ一部の市民のみならず、地元の意見、地域の活性化も同じく大切にしたいと思えます。どちらか一方が市民の大多数意見ではありません。地元の皆さんにも、どんどん声をあげていただきたいと思えます。
ふる :	サシバは何かプラスになるような渡り鳥なのですか？餌は？
公園 :	サシバは里山生態系の頂点に立ちます。その存在は環境バランスがとれている指標になります。餌は蛙やマムシなど肉食で、米は食べません。
環境 :	同じ鷹類のオオタカは留鳥ですが、サシバは渡り鳥です。渡って来るかは不確定ですが、千葉県レッドデータブックの1番目に掲載されています。連絡路は観察路という位置付けになるかと思えます。
公園 :	B・D部分は自然保護エリア、A・Cゾーンは、斜面林などの地形の大幅な改変は行わないものの、地元のご意見を伺いながら「公園」の形づくりをするエリアです。手付かずの荒れ放題だった部分を昔からの里山に戻すことは、サシバにとっても問題はないとのご意見はあります。ただ、泉自然公園のような吊り橋は難しいかも知れませんね。公園緑地課は、「公園」という形を皆さんと一緒に作ることができたら、と考えていますので、ご意見をいただきたいと思えます。
ふる :	サシバについての予算はどうなっていますか？単にサシバのみを保護するために、佐倉市としての予算はつかないと考えられますが。
環境 :	千葉県の環境財団から里山保全費用として合計1,000万円の補助金を受けています。残額が500万円位あり、今後5年間で事業を進める予定です。畔の復元や草刈りを主として、一部耕耘などして草の根切りをします。最終的には昔からあった畔の復元をBゾーンの中流域から下の部分にかけて行います。台地から谷津沢へのラインは道そのものがありますので、農道のような観察路はできるかと思えます。 (土地の所有者・今後について)
里山 :	協力会の旗あげをしたいと思ひ、地元の話に話を投げかけました。その際、地権者の方々に話を通さず進めることには疑問があるという意見が出ました。以前行ったような話し合いの機会は予定していますか？
公園 :	佐倉市在住ではない方もいますし、以前の地権者説明会に参加いただいていない方もいます。皆さんに提案いただいた案の形・計画がなければ、何についてご協力いただくのか具体的なお話ができにくい状況ですが、折を見てご連絡したいと考えています。

里山：	自然公園ができる、だけでは漠然としていて難しいと思います。出来るものからどんどん - 例えば看板を立てたりしていけば、「あ、公園が出来るんだな」という意識も生まれます。
公園：	その通りです。ただし、予算的な部分で、一定の形・計画がなければなりません。地権者への説明についても同様です。そのためにも、皆様のご協力をお願いしたいと思っております。
ふる：	人が入ることで、地域が活性化していくことも大切です。まずは昔からの道を復活させて人が入れるようにすること、さらに下草刈りなど自然公園としてこれ以上荒れないように、サシバに影響ない範囲で下志津・畔田地区の希望を取入れてやっていただきたいと思います。
里山：	緊急雇用の予算が切れた以降はどうなるのでしょうか。そのままでは元に戻ってしまいます。協力しながら1日でも早く良い自然公園にしたいと思います。体制づくりをしつつ、地域の活性化につなげたいと考えます。

次回の合同会議開催について

ふる：	今後は一般市民も交え、徐々に意見を聞いていかなければいけませんね。
里山：	下志津・畔田はお隣ですが学区が違い、あまり交流がありませんでした。
ふる：	これを良い機会として、このような硬い場も良いのですが、たまには合同で芋煮会をするなど、交流したいと思います。
里山：	大賛成です。やわらかい話から入ることも必要です。イメージ図にあるバーベキュー広場で何かやっても。お酒も入れれば話も変わるでしょう。
ふる：	これからも下志津・畔田が足並みを揃えてやっていくことが大切です。
公園：	そうですね。では、次回の合同会議は、整備 - 緊急雇用の進捗具合をみながら、里山会・ふるさと会の両会長と連絡・相談のうえ、決定します。

その他質疑応答

	(アスレチック遊具について)
ふる：	Aゾーンのアスレチック遊具が1・2と離れています。つながりは？
公園：	手繰川沿いは、現在でもお年寄りが結構、散歩されていますので、主にお年寄り用の健康遊具を想定しています。使い勝手からすると、小さいお子さんを連れて来るには、駐車場近くが良いのかと。
ふる：	イメージ図にある観察小屋ですが、鳥を観察する方にとって、子どもの声などがご迷惑になりませんか？
公園：	休憩所的なものなので、大丈夫かと思えます。アスレチック遊具については、木で作ったシーソーなど、街中にあるようなキレイで冷たいものではなく、景観にあった野趣あふれるものになる可能性があります。
ふる：	コースとして、10個位をクリアしていくイメージではないのでしょうか。
公園：	当初は単品で遊具を設置していくことになるかと。ただ、台地上に場所が確保できますので、可能性はあります。まず散策路や駐車場を優先するという提案ですので、遊具はその後になります。どのような遊具かは、皆さんの意見を取入れ、詳細を詰めていきたいと思えます。

以上